

2018年度総会報告

会員数 282名
総会出席 46名
委任状 134名

2018年度 役員/事務局	(会長) 林 同福 (副会長) 河合 純子 (顧問) 山田 敬三 (企画運営委員長) 後藤 みなみ (副委員長) 齋木 賢一 島田 裕子 (委員) 内山 茂樹 宇野 浩二 島田 楊子 新田 喜子 眞崎 徹彦 増田 勝代 宮永 月娥 山本 喜代子 吉村 晴夫 若林 明 渡利 慶昭 (監事) 喜多村 クニ子 鳥本 次郎 (事務局) 後藤 みなみ 齋木 賢一 島田 裕子 (会計) 中西 敦彦
------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

司会：島田 裕子
議長：齋木 賢一
開会挨拶：林同福会長
来賓挨拶：愛新翼館長
すべての議案は、原案通り承認されました。

2017年度事業報告

- ・総会及び特別講演会・・・4月29日(土) 移情閣ホール
会員数261名、出席37名、委任状提出129通で総会成立。すべての議案が原案通り承認されました。特別講演会講師：神戸華僑歴史博物館 蔡 勝昌館長、演題：「活動を通じて見た華僑社会」。懇親会は海彩園にて開催、参加者：33名。
- ・関帝廟普渡勝会・精進料理を楽しむ会・・・8月25日(金) 関帝廟
参加者：16名。28日の謝宴：役員など5名。
- ・移情閣まつり2017&交流会・・・10月8日(日) 移情閣ホール・庭園
参加者：224名。公開文化講座：①講師：岩本公夫氏 演題：「中国門 礎」②講師：山田敬三顧問、演題：「王羲之と魯迅の跡を訪ねて」他に、コーラス、フルス演奏、二重唱、オカリナと漢詩朗唱のコラボ、二胡演奏・体験、囲碁交流戦、ミニバザーなどを実施。
- ・孫文2017音楽と講演の会・・・11月19日(日) 移情閣ホール
参加者：82名。音楽の部：コーラス同好会・二胡同好会が出演。講演の部講師：愛新翼館長、演題：「中国近代化における孫文の影響」
- ・2018新春特別講演会・・・1月21日(日) 移情閣ホール
参加者：45名。講師：大阪日台交流協会野口 一会長、演題：『夜空に輝く星座の如く～孫文から明治維新』
- ・2018新春のつどい・・・2月12日(月・祝) 東栄酒家
参加者：47名。講演講師：生田神社加藤 隆久名誉宮司、演題：「陳舜臣が信仰した神社」

2018年度事業計画

- ・総会・特別講演会・・・6月17日(日) 於 移情閣ホール
特別講演会演題：「兵庫県政150周年と国際交流」
講師：多木 和重(公財)兵庫県国際交流協会副理事長
- ・孫文2018 音楽と講演の会・・・11月28日(水) 県民会館
音楽の部：コーラス同好会・二胡同好会が出演。
講演の部：講師安井三吉名誉館長、演題：「孫文と神戸」

《会員親睦および交流活動》

- ・国際交流フェスタ2018 in 舞子公園・・・7月15日(日) 舞子公園
バーベキュー交流・国際音楽会・文化講座・公園施設めぐり
- ・関帝廟普渡勝会と精進料理を楽しむ会・・・8月25日(土) 関帝廟
- ・移情閣まつり2018&交流会・・・10月7日(日) 移情閣ホール 中国の文化と音楽を楽しもう。中国留学生・中国語履修高校生との交流
- ・南方熊楠記念館・顕彰館等交流の旅・・・11月10-11日(2日1泊)
→10月21日(日) 日帰りバスツアーに変更して実施
- ・2019新春のつどい・・・2019年2月3日(日) 講演・特別展見学：神戸華僑歴史博物館/中国食文化交流：東栄酒家

《移情閣だより》 年2回発行(8月、1月)

< 会則改正 > 赤字は改正箇所

- ・第18条(運営) **委員には交通費を支給することができる。**
- ・第27条(構成) 事務局には、**事務局長、事務局員、会計を置く。事務局長は、企画運営委員長が兼任する。また、事務局員・会計は、企画運営委員の兼務を認める。**
- ・平成30年6月17日より改定し施行する。

2017年度決算・2018年度予算

1. 収入の部

科目	2017決算額	2018予算額
会費収入	284,000	285,000
助成金	250,000	250,000
雑収入	16,000	15,000
寄付金	164,000	100,000
その他収入	10	100
合計(a)	714,010	650,100

2. 支出の部

科目	2017決算額	2018予算額
通信費	93,555	100,000
移情閣だより	80,416	80,000
広告宣伝費	94,899	100,000
会議費	36,692	50,000
交流事業費	10,000	70,000
移情閣まつり	60,800	60,000
孫文2018	50,000	20,000
新春のつどい	34,573	20,000
事務局運営費	119,460	120,000
消耗品費	51,137	20,000
予備費	0	10,100
合計(b)	631,532	650,100

当期収支差額(=a-b)	82,478	0
前期繰越金	964,286	1,046,764
次期繰越金(c)	1,046,764	1,046,764

神戸市シルバーカレッジ 孫文研究グループ『とよつねさん』

三上 博之



今回投稿の機会を頂きありがとうございます。子供の頃から、ただ漠然と国鉄(JR)の車窓から見る舞子の移情閣を六角堂と呼んでいました

が、去年の秋ごろ初めて見学させて頂きました。私達四人が移情閣友の会に入会したきっかけは、昨年神戸市シルバーカレッジ国際交流友の会クラブ活動に於いて、外国人交流の催しで明石海峡大橋と移情閣を見学する機会があり、多くの日本人(特に神戸の人達)が孫文を支えた事を知りました。

その中に王 敬祥・楊 寿彭・瀧川 辨三・松方 幸次郎・三上 豊夷といった神戸の人達が登場してきますが、三

上 豊夷については知りませんでした。私の名前も三上ということと私の本籍地が中央区山本通3丁目であったり、未だ消息不明の祖父が神戸の海運会社で同時代に外国での仕事をしていた事から、何か関連があるのではないかと等々疑問から、三上 豊夷について調べれば何か手がかりが掴めるのではないかと本格的に調査するため、神戸市シルバーカレッジの仲間4人が賛同し、孫文研究グループチーム『とよつねさん』を立上げて4月から活動を開始しました。

孫文が亡命した時の足取りや、その時に支援した松方・瀧川・三上の行動と現地を実際に調査しています。これらの調査に対して移情閣友の会事務局長の後藤 みなみさんには大変お世話になり、孫文記念館館長の愛新翼様・『孫文と神戸』の著者安井 三吉様・友の会会長の林 同福様・華僑歴史博物館館長の蔡 勝昌様をご紹介を頂きました。私達孫文研究グループの調査活動において、色々なアドバイスや資料の提供など、大変ご協力頂いたことに感謝いたします。『とよつねさん』チームメンバー：三上 博之・磯松 淑恵・前田 政彦・井上 郁代)

哀悼 武上 真理子先生—「武上 真理子氏が目指したもの」

中文同好会 清水 嗣子

2月6日、神戸新聞地域の掲示板の記事を目で追っていると「武上真理子氏が目指したもの」という記事にびっくりしました。「ええっ、何ってこと、この記事の書き方は亡くなられたという事?・・・なんで、いつ?」。もう胸はばくばく震えていました。

中国文化同好会で「孫文と南方熊楠『海外にて知音と逢う』」と題して武上先生の講話を聞いたのがいつのことだった定かではありませんが、先生とは垂水のレバンテの会場で初めてお会いしました。キュービーさんのようなパッチリした目元が輝いたお姿、また女性の孫文研究者というのがとても新鮮でまばゆい感じで学究一途な先生とお見受けしました。あの講義から10年は経っているのに記憶がよみがえります。早速孫文研究会例会参加の申込みをしました。

2月24日(土)神戸アロード中華会館での例会の集いでは、代表の緒方康先生の先導で一同黙祷をし、武上先生の経歴と病歴の報告のあと、籠谷先生と緒方先生から「科学の人・孫文」の著書からの解説があり、休憩ののち、追悼の形で武上先生をお偲びしました。

安井三吉名誉館長：「電車に乗るときは一番前の車両に乗り、時々女性の運転手さんに出会うと武上さんがその場にびったりと似合う姿が思い浮かぶのです。」「華商大会の年、展示物など業者と相談しながら手際よく仕事をしてくれました。」「JR甲子園口駅に、桜の木があり、今年ももうすぐ咲いてくれます。彼女と話ができそうな思いです。」と早い旅立ちをおしまれました。

「武上さんはミステリアスな感じの方で、物事をずらしていく見方、考え方をされる人」と籠谷大学松居先生。

京大人文科学石川先生：「5年間仕事をしていただき感謝しています。英検二級で論文も英語で書く方だった。4月に脳梗塞を発症し10月の再発で助からなかった。」と。そして狭間直樹先生からの伝言として、「中山大学の留学生を武上先生の指導任せ、よく面倒見てくれた。その留学生が再会のために京大に来られた時が、武上先生の偲ぶ会をしていた時で絶句していた」と。留学生にとっては晴れやかな武上先生とのハグが遺影との対面となり悔いの残ることでした。嬉しいお別れです。

宮川祥子さん(孫文と横浜で結婚された大月 薫さんの曾孫さん)：武上先生の本を読んで人生が変わるほどの変化があり、気持ちが定まり、嬉しく泣きました」と。魂の救済者でもあった武上先生に感謝をのべられました。

愛新翼孫文記念館館長より「科学の人孫文を再認識させてもらった。移情閣では5年間孫文研究員として勤めてもらった。痛恨の思いで、ありし日をしていましてお悔やみ申し上げます」と弔文を寄せられました。「神戸学院大学ゼミで南方熊楠って何だろう?南方(なんぼう)のパンダのことかと学生は思ったと一同大笑い。討論では中村先生と武上先生、お互いハッスルして5倍、6倍返しの反論が見ものだった」と。お笑いもありました。

武上先生の大きなお仕事は、和歌山の南方熊楠顕彰会と深いつながりの交流を結ばれたことで、この日は4名の関係者が参加され貴重なお話を伺うことができました。孫文研究会の三輪先生は武上先生にシンポジウムで発表する姿を映してほしいと頼まれて当時出始めのデジカメを渡された。「どううちの人の、私の仕事を信用してなくて証拠写真を見せたいから」と言われ、舞台の武上さんを写しましたと微笑ましいエピソードもありました。

最後にご遺族であるご主人様のお話：「大学を出て銀行に勤めていて悶々としていた。大学に行き直して研究に研究の毎日。テレビも見ず本ばかり読んでいました。

脳梗塞で倒れたが、快方に向かっている本人も喜んでいたらと再発した。短い人生だったけれど、充実した人生だった」と話されました。

そして、孫文研究会、華僑華人研究会共催の世話人陳来幸先生が、彼女のやりたかったこと、やり残したことをこれからしっかり受け継いでいかねばと思っていますと挨拶され、5時過ぎ例会と偲ぶ会を終えました。

大英博物館での孫文と熊楠の智の対話がスリップしたような中国文化同好会で講義して下さったのが初めての公開講座だったのではと思います。まさに一期一会はこのことと今にして思います。安井三吉先生のお言葉のように、私も桜の花を見ては武上先生の講義を思い出すことになるでしょう。ありがとうございます。合掌

咲いてまた逢いたい人の名を想い やすみりえ(川柳作家)

*(事務局) 武上真理子先生は、2017年10月20日にお亡くなりになりました。謹んでご冥福を心よりお祈り申し上げます。2018年度総会特別講演会で「科学の人—孫文」と題した講演いただきました。生前は友の会の会員としてもご理解とご協力を賜りましたことを心より深く感謝申し上げます。